

松山・平澤 友好協会 会報

Vol.18
2017

마쓰야마・평택 우호협회 회보 제18호(2017)

平成28年度 平澤市代表団が来松



8月12日(金)～14日(日)の3日間、平澤市の孔在光(コン・ジェグァン)市長をはじめとする代表団10名が松山市を訪れ、松山まつりに参加したほか、道後アート2016や防災センター等の視察を行いました。

平成27年10月に松山市代表団が平澤市を訪問した際に、野志市長が孔市長を松山まつりにお誘いしたことが、今回の来松のきっかけとなりました。12日の歓迎レセプションで、本家野球拳保存会澤田藤静三代目家元の指導で、野球拳おどりの練習をして、13日の本番に臨んだ代表団の皆さんは、沿道の大勢の松山市民の声援を受けながら、松山市役所連の先頭で約500mの道のりを見事に踊り切りました。

「平澤市でも特色のある祭りを作りたい」という思いを持つ孔市長らは、様々な連の趣向を凝らした踊りを熱心に見学していました。

今回の訪問では、孔市長に松山市から「特別名誉市民」の称号が贈られたほか、当協会の鮎川恭三前会長に「きらめき松山市民賞」が授与されました。鮎川前会長は、平成16年の当協会設立時から11年間にわたり、会長として当協会の発展と市民レベルの交流促進に多大なる尽力をいただきました。

今年度で友好都市提携から13年目となりましたが、今回の来松は、これまでの友好交流の軌跡を振り返るとともに、未来志向の交流につながる機会となりました。

運営部より

渡部さつき新事務局長 就任あいさつ

今年度より事務局長を任せられました。運営部員としてこれまでの活動経験も浅く、当協会と運営部との関連もよく分かっておらず、戸惑うことばかりでした。不安のなかでの始まりでしたが、先輩たちの導きで何とか1年が過ぎました。

私の韓国との出会いは、十数年前の「冬のソナタ」・ヨン様・K-POP等、韓流ブームが始まり、私もそのブームに乗った一人でした。韓国ドラマを見ているうちに、ハングルの音の響きが耳に心地よく聞こえ、韓国語を勉強してみようと思立ちました。その後、韓国からの留学生や思いを同じくする仲間たちにも恵まれ、途中で飽きることなく続けてきて、やっと会話ができるようになりました。

また、韓国の生活習慣・文化・軍隊懲兵制度など、日本の近くでありながら、何一つ知らないことばかりでした。私の韓国への認識はまだですが、これからは運営部の活動を通して個々の繋がりも広げていきたいと思います。

活動に関し、当協会・会員・部員・関係各位の皆様には協力していただき感謝しております。新しい運営部員の参加を随時募集しておりますので、私たちと一緒に活動しませんか!連絡をお待ちしています。

運営部員の感想

運営部新体制になって第1回目のハングル講座とマダンでした。今までの充実した内容を壊さない様に新しい試みに挑戦しました。前期は、会員さんの声掛けや、コミュニティー新聞での広報で、7人の入会者がありました。受講者も多く、会場もいっぱい活気のある講座となりました。

今までは別の日に行っていたマダンを後期ハングル講座の中に組み込み、留学生たちに日本に来て感じた韓国と日本の違いについて話してもらいました。よく観察しているなど感心しました。最後に、チャン先生と運営部で考えたハングル文字を使ったゲームをグループ対抗で行い、大いに盛り上がりました。チャン先生をはじめ運営部の皆さん、時間を作って度重なる打合せに出席していただき、ありがとうございました。

来年度も、会員同士の絆が深まり、その輪を広げ、国際交流の一端を担えることを願っています。(運営部HT)

「楽しくハングルの勉強する」をモットーに、わずか6回の講座ではありますが、普段触れ合うことの少ない留学生と交流し、またチャン先生のご指導のもと、ドラマのせりふから教科書にはない生きた韓国語を感じてもらおうと企画しました。

幸い、参加された皆さんからも、普段の勉強の刺激になり良かったと、嬉しい声をいただきました。

(運営部TE)

交流TOPICS

平澤港マラソン大会に松山市ランナー3名が参加

開催日:10月9日(日) 場所:平澤港マラソン大会会場

今年度も平澤市からの招待を受け、松山市から3名の選手と団長1名が平澤港マラソン大会に参加しました。

平澤港マラソン大会は、8,000人を超える選手がエントリーしている大規模な大会で、平澤市を代表する一大イベントにもなっています。

ハーフ・男性の部では、自己ベストを更新。ハーフ・女性の部では、2位と8位入賞を果たしました。



平澤市職員が研修のために来松

開催日:10月31日(月)～11月4日(金)

場 所:松山市内一円(松山城、道後地区など)

平澤市職員7名が、観光分野の研修のため松山市を訪問しました。

松山市役所では、観光・国際交流課の職員から松山市の観光戦略について説明を受け、「松山-広島間の航路で外国人が割引になる制度について、ぜひ平澤市でも周知したい」との意見がありました。

松山城では、学芸員の説明を受けながら天守まで登り、鎧や刀など数多くの展示物を熱心に見学していました。

道後地区では、道後温泉事務所の職員から「道後アート2016」について説明を受け、また、道後商店街や旅館に展示されているアート作品を鑑賞しました。温泉とアートを融合したイベントに関心を示していました。

研修の参加者からは、「松山市には魅力的な観光資源が多く、また観光に力を入れていることがよく分かり、参考になった。」との感想が寄せられました。



ただ今、
会員
募集中!!

あなたも韓国・平澤市と友好を深めませんか?

韓国や平澤市について関心のある方や、交流してみたいと思っている方は、ぜひご入会ください!

★入会ご希望の方は、下記連絡先までご連絡ください。入会申込書と納付書をお送りします。

年会費	個人会員	1口	2,000円
	団体・法人会員	1口	5,000円

発行/松山・平澤友好協会

〒790-0003 愛媛県松山市三番町6丁目4番地20 まつやま国際交流センター内
TEL089-943-2025/070-5356-0403(協会活動申込・お問合せ)
FAX089-931-2041 E-mail matsu.hira.kyoukai@gmail.com

ホームページ